

これからのまちづくり

集会では、町長から今後の町政運営で重点的に取り組む施策についての説明と、東日本大震災で得た情報や経験をふまえた町防災対策についての説明を行い、皆さんからご意見を伺いました。

【より豊かな教育の町】

教育が町づくりの原点であるという認識に立ち、地域・家庭・学校・企業・行政などにかかわるあらゆる人がそれぞれに責任を持ち、力を合わせて「町の未来を支える人づくり」に取り組んでいく必要があります。教育施設の整備や教育内容の充実などにより、質の高いより良い教育環境を創ります。

【より災害に強い町】

東日本大震災の発生や台風による水害から学んだ数多くの教訓をもとに、「町民の皆さんの命をいかにして守れるか」という危機管理意識の徹底と、非常時での迅速な対応が強く求められており、これまでの地域防災計画の見直し

をはじめとして、地域ぐるみの防災対策強化や日ごろからの訓練に一層力を入れ、災害に強い町を創ります。

【より町民が主役の町】

環境・福祉・防災・教育といった様々な分野の取り組みが、自治会を中心として活発に展開されています。社会情勢などの変化とともに、複雑で多様化する行政ニーズに対応するため、今後も町民・企業・行政が一体となってまちづくりに取り組み、協働のまちづくりをさらに推進し、町民が主役の町を創ります。

【より美しい町】

町の北部地域の田園風景やあじさい公園、町内に網目のように張り巡らされた河川や水路などの美しい景観は、町の宝です。今後の都市づくりを進めていくうえで、それらの貴重な資源を保全しながら、自然と調和したまちづくりを進めていくことが求められています。町民総ぐるみで環境美化活動などに取り組み

町全体が一つの公園のようなきれいでより美しい町を創ります。

【より健やかな町】

小さな子どもからお年寄りまですべての町民のみなさんが、いつも元気で生きがいを持って生活するために、保健・医療・福祉が連携した取り組みが求められています。様々な検診や健康診査をはじめ、健康づくりや予防のための事業に積極的に取り組み、すべての町民がより健やかに暮らせる町を創ります。

参加した皆さんの意見

参加された皆さんからは、町民の安全・安心を守るために、防災に関する施策を確実に進めて欲しいとの意見、酒匂川流域の防災マップの作成、放射能検査実施などの要望、これから開成町の防災対策はどのように進んでいくのかなど、活発な意見や要望が多く出されました。

※詳細は町ホームページをご覧ください。

▶ <http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/>



平成23年度まちづくり町民集会を開催し、延べ148名の皆さんに参加いただきましたので、結果をご報告します。 自治活動応援課 ☎84-0315

「東日本大震災から考える開成町の防災対策」

被災地報告

6月8日から10日まで、町長をはじめ5名の職員による宮城県石巻市や山元町等での現地視察の報告を行いました。現地で撮影した状況写真は、横たわるビルや屋上に流された車の様子、瓦礫のような街の風景など、津波災害による壊滅的な状況を伝えていきます。被災者の皆さんが生活す

る避難所の様子、被災地の復興や被災者支援の活動を精力的に行う自衛隊の様子なども写し、町長が現地で直接感じたことを伝えました。

町の防災対策

震災などの自然災害から、すべてを防ぐことは到底困難であり、「防災」に加え「減災」という考え方を示すことにも、災害時の具体的な行動についての説明をしました。

「自助」

災害発生時において、自身や家族の命・安全を確保すること（自助）が最優先となります。自助力を高めるため、自分や家族を守るために日ごろからの訓練の必要性や、非常持出品の準備、家族との連絡方法の確認などが重要となります。

「共助」

自分や家族の安全が確保できたら、隣近所や要援護者など地域の方の安全を確保すること（共助）が、必要となります。共助力を高めるために、

向こう三軒両隣の体制づくりや、自治会による自主防災活動への参加・協力、避難訓練や消火栓訓練などへ積極的に取り組むことが重要です。

「公助」

行政や他地域からのボランティアなどによる援助（公助）が受けられるまでにはかなりの時間を要することになります。町の役割として「自助」や「共助」を高める働きかけはもろろんのこと、行政機能の維持を目的とした庁舎の整備や国・県・自衛隊などの関係機関との連携強化に努めていきます。

町の水害対策

大震災の他にも台風やゲリラ豪雨による土砂災害や水害が起こる可能性は少なくありません。このことから今後、町では重点的に水害対策に取り組んでいきます。

また、これまでの取り組みである「防災行政無線個別受信機設置補助」や「木造住宅耐震診断費補助・改修費補助」などの継続に加えて、より災害に強い町づくりを目指して、計画的な水路改修を行っていくとともに、「地域防災計画の

見直し」地域ぐるみの防災対策の強化」「水害対策の強化」「情報伝達手段の多様化」などを重点施策として取り組んでいきます。

なお、水害に備える訓練として、浸水対応避難訓練を実施します。

○日時 平成24年3月11日（日）9時30分～11時

被災地支援派遣職員活動報告

東日本大震災により被災された宮城県石巻市にて、複数の町職員が避難所運営や行政支援に携わりました。今回の町民集会の時間の中で、支援活動の報告を行いました。



被災者からの体験談

「津波からは生き延びたものの、雪でびしょぬれのまま凍死寸前で二晩を過ごされた話」や、「避難場所に海の方から何台も車が流れ着き、その中に脱出できずに助けを求めた子どもの声が聞こえていても助けることができずに、夜更けになって静かになってしまい「頑張つて」と声をかけ続けるしかできなかったことを涙ながらに後悔する方」など避難所での支援活動に従事する中で、石巻市の皆さんから多くのお話を伺いました。

石巻での支援活動

小・中学校などに開設された避難所での生活は本当に厳しいものでしたが、石巻の皆さんの前向きな笑顔に触れ、生活を共にした経験は、今後の公務の糧となっていくと思



まちづくり町民集会自治会別開催状況

開催日	対象自治会等	開催場所	参加者数
11月21日	岡野、金井島、上延沢、下延沢、円中	町民センター	46
11月24日	宮台、牛島、下島、パレットガーデン	福祉会館	41
11月26日	全体	町民センター	20
11月28日	上島、河原町、榎本、中家村	町民センター	41